

ほたる

令和2年8月28日 発行

目指す児童生徒像

- すすんで学び、考える子ども
- みんなとなかよくする子ども
- 明るく元気な子ども
- 自分のことは自分でする子ども

夏休み明けの学校がスタートしました

37日間の夏休みが終わり、8月24日には子ども達が元気に登校してきました。今年は「身体的距離の確保」「マスクの着用」「手洗い」などの「新しい生活様式」を意識した夏休みだったことと思います。学校のプールが利用できなかつたり、ご家族でお出かけできなかつたりしたと思いますが、各ご家庭で工夫をさせていただいて子ども達は有意義に夏休みを過ごしたことと思います。

さて、1学期も残すところ1か月余りとなりました。9月には中学部の修学旅行があったり、学校祭に向けて学校祭実行委員会の取り組みがスタートしたりします。これらの活動を通して経験を広げ、子ども達にとって実り多いものになるようにしていきたいと思えます。

また、まだまだ残暑が厳しい日が続きます。子どもたちが元気に学習に取り組めるよう、水分補給などの熱中症対策を心がけていくと共に、新型コロナウイルス感染症防止の取り組みも進めてまいりますので、今後ともご協力をお願いします。



夏休み明け全体朝会

8月24（月）夏休み明けの全体朝会が行われました。例年であれば、全校児童生徒が体育館に集合して行われていましたが、今回は新型コロナウイルス感染症防止の観点からリモートで実施しました。これは音楽室から放送された画像を、小学部・中学部の各教室、高等部ホールのスクリーンに映して進行しました。



高等部代表生徒の発表

校長先生のお話は、絵を見せながら手洗い、朝の検温、マスク着用の大切さをお話しされました。また、小学部代表児童は、夏休みにプラレールを使って回転寿司をした思い出や今笑顔いっぱいいろいろなことにチャレンジしたいことなどを話しました。中学部代表生徒は友達が泊まりに来てバーベキューをした思い出や今後は勉強と運動を頑張りたいと話しました。高等部代表生徒は国語や数学、作業学習と朝の運動を夏休み明けに頑張りたいと話しました。

夏休み明けの児童生徒の活躍が楽しみです。

開校記念日について

本校は昭和53年4月1日、宮城県立金成養護学校として独立開校しました。その翌年の8月30日には、現在の地に校舎が建てられました。この日を記念し、本校では開校記念日としています。